

『土井ヶ浜遺跡』発掘調査報告書（第1版）正誤表

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
1	巻頭図版7	写真キャプション	ゴホウラ腕輪（1952採集）	ゴホウラ腕輪（1952年採集）
1	目次	巻頭図版7	笠貝・二枚貝製腕輪	上：ゴホウラ腕輪（1952年採集） 下：笠貝・二枚貝製腕輪
1	目次	表1	第6次調査区の標準土層	第6次調査区の標準層位
1	目次	表12	ページ数が抜けている	210
1	目次	表13	ページ数が抜けている	211
1	目次	表14	ページ数が抜けている	215
1	目次	表15	ページ数が抜けている	216
1	目次	表16	ページ数が抜けている	217
1	目次	表17	ページ数が抜けている	217
1	目次	表18	ページ数が抜けている	220
1	目次	表19	ページ数が抜けている	222
1	目次	表20	ページ数が抜けている	224
1	目次	表21	ページ数が抜けている	224
1	目次	表22	ページ数が抜けている	226
1	目次	表23	ページ数が抜けている	229
1	目次	表24	ページ数が抜けている	231
1	目次	表25	ページ数が抜けている	241
1	目次	図2	土井ヶ浜周辺の地形	土井ヶ浜遺跡周辺の地形
1	目次	図12	土井ヶ浜遺跡周辺民間伝承関連図	土井ヶ浜遺跡周辺民間伝承関連位置図
1	目次	VII 附録 1.	第1巻第1号	第3巻第1号
1	1	13行	168.63m ²	168.63km ²
1	3	写真1キャプション	1957年の土井ヶ浜周辺地形（東から）	1964年の土井ヶ浜周辺地形（東から）
1	3	写真2キャプション	1957年の土井ヶ浜周辺地形（西から）	1964年の土井ヶ浜周辺地形（西から）
1	7	下から7-8行	（長岡，1999）	（長岡1999）
1	8	下から6-7行	（下関市教育委員会，1990・濱崎編2010）	（下関市教育委員会1990・濱崎編2010）
1	13	1行	（小林・沖田2007）	（小林・沖田編2007）
1	14	19行	無紋土器	無文土器
1	14	7行	（小南・上田・椿2004）	（小南・上田・椿編2004）
1	16	11行	（沖田編2005）	（沖田編2005）
1	16	下から13-14行	（種浦編2004）	（種浦編2004）
1	16	下から2行	（豊北町教委1989）	（豊北町教委編1989）
1	16	下から4行	（富士埜1983）	（富士埜編1983）
1	16	下から9行	小林・沖田・畑山2011	小林・沖田・畑山2011b
1	21	下から10行	推察されている。	推察されている。
1	21	下から14行	（小南・上田・椿2004）	（小南・上田・椿編2004）
1	22	下から15行	（有福2003）	（有福編2003）
1	23	8行	元禄12年（1699年）	元禄12年（1699）
1	23	下から4行	大山田窯	④大山田窯
1	26	24行	小林善也・沖田絵麻・畑山智史 2011	小林善也・沖田絵麻・畑山智史 2011b
1	28	4行	土井ヶ浜といえば…	「土井ヶ浜」といえば…
1	28	5行	その名が取り上げられる全国的にみても…	…その名が取り上げられる、全国的にみても…
1	28	6行	山口県指定無形民俗文化財「浜出祭」の…	山口県指定無形民俗文化財「浜出（殿）祭」の…
1	28	8行	土井ヶ浜について、	「土井ヶ浜」について、
1	28	下から5行	言い伝えさらには伝聞的な…	言い伝え、さらには伝聞的な…
1	29	3行	各支藩領もこめて、	各支藩領も含めて、
1	29	3・4行	各支藩領もこめて、各村落から萩藩府の…	4行目の「享保12年（1727）から宝暦3年（1753）にかけて、前後27年の間に」を「各支藩領も含めて、」の後に 入れる
1	29	下から11行	4,5年前	4,5年前
1	30	下から15行	ここでは、	ここでも、
1		下から10-11行	（嘉永5年（1852））	嘉永5年（1852）
1	31	最下行	「浜出祭」に関わる…	「浜出（殿）祭」に関わる…
1	33	3行	お告げがあり、浜殿祭を復活した…	お告げがあり、旧式（浜殿祭）を復活した…
1	33	下から15行	近藤や河野のような知識人に…	近藤や河野のような知識人に…
1	33	下から11行	三 文字資料のなかの土井ヶ浜一発掘調査以降の土井ヶ浜を…	三 文字資料のなかの土井ヶ浜一発掘調査以前・以降の土井ヶ浜を…
1	34	14行	土井ヶ浜が密接の繋がっている…	土井ヶ浜が密接に繋がっている…
1	35	11行	「弥生人骨」というが	「弥生人骨」ということが
1	36	1行	神功皇后社に合祀されて、現在に続く。	神功皇后社に合祀されたことが記載され、現在に続いている。
1	36	10行	伝承とともに、浜殿（出）祭が…	伝承とともに、「浜殿（出）祭」が…
1	36	12行	これに対し、地下上申では、	これに対し、『地下上申』では、
1	36	下から16行	根底にある。「注進案」にいたっては…	根底にある。さらに『風土注進案』にいたっては…
1	37	18行	おこなわれる「浜出祭」によって…	おこなわれる「浜出（殿）祭」によって…
1	37	下から15行	図1土井ヶ浜周辺民間伝承関連位置図	図12土井ヶ浜周辺民間伝承関連位置図
1	38	17行	御久米をいただき、	御久米（御供米）をいただき、
1	38	下から9行	事故でなくなっていた。	事故で亡くなっていた。
1	38	下から4行	発掘調査以前・以後では、	発掘調査以前・以後における、
1	39	下から10行	事例四のように…	事例Vのように…
1	40	2行	そこに暮らす地人々のなかにおいては、	そこに暮らす地域の人のなかにおいては、
1	42	図中	招魂碑	忠魂碑・招魂碑
1	43	左下写真	忠魂碑（平成25年撮影）	忠魂碑・招魂碑
1	45	6行	（～昭和27）	（～昭和27年）
1	49	2行	見え始めたいた	見え始めていた
1	49	5行	『山口県地方史研究会』：1-14.	『山口県地方史研究』67号：1-14.
1	56	下から6行	牛島・衛藤	牛島・衛藤
1	59	15行	表土	表層
1	60	20行	成人	熟年
1	61	13行	9号人骨・11号人骨	9号人骨・10号人骨・11号人骨
1	62	18行	22人骨は下顎骨のみである。	22号人骨（女性）は下顎骨のみである。
1	63	註（1）の3行	日本考古学協会	東京堂出版
1	63	註（2）	「牛塚」	「牛塚」
1	64	15行	散乱人骨と 土器片	散乱人骨と土器片
1	69	下から13行	（女性・熟年）	（男性・壮年）
1	70	16行	（男性1、女性1）	（熟年男性1・女性1）
1	70	下から15行	（女性・老年） （女性・熟年）	（女性・壮年） （男性・老年）
1	71	3行	第4号石棺	2号箱式石棺墓
1	71	12行	ところ、	ところ、
1	72	15行	配石みられる。	配石がみられる
1	72	26行	（図版12図3）	（図版12図2）

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
1	74	下から11行	(男性・老年)	(男性・熟年)
1	75	19行	mの規模ものと、	mの規模のもの、
1	75	註(1)の3行	日本考古学協会	東京堂出版
1	77	下から7行	貝混りの黒土層	貝混りの黒土層
1	82	7行	調査として実施された。	削除
1	83	下から2行	人骨資料のは、	人骨資料は、
1	84	17行	女性骨が206-1…	女性骨(老年)が206-1…
1	84	下から14行	4体分(男性3、女性1)	5体分(男性4、女性1)
1	85	9～10行	人類学ミュージアムで保管する211～224号人骨出土遺物には、管玉7点(図版277:14～20)がある。	全文を削除(86項へ移動)
1	85	19行	53))が	53)が
1	85	下から16行	(小児)	(男性・壮年)
1	86	1行	(図版25図2)	(図版25図1)
1	86	18行	”・・・出土している。”の後に右の文章を追加	人類学ミュージアムで保管する211～224号人骨出土遺物には、管玉7点(図版277:14～20)がある。
1	87	4行	229号人骨	229-SK-1号人骨
1	87	4行	229 a 号人骨	229-SK-2号人骨
1	87	4行	230号人骨(女性・不明)	230号人骨(女性・壮年)
1	87	6行	229-1人骨	229-Y-1人骨
1	87	6行	229-2号人骨	229-Y-2号人骨
1	87	6-7行	それぞれ、頭蓋と四肢骨があるが、その他は頭蓋のみである。	それぞれ、頭蓋と四肢骨があるが、その他は頭蓋のみである。
1	88	下から11行	242号人骨	242-1号人骨
1	89	8行	(乳児・9ヶ月～1歳)	(乳児・6ヶ月～9ヶ月)
1	90	下から12行	いることから、	いることから、
1	91	註(1)の5行	日本考古学協会	東京堂出版
1	94	下から10行	掘り下げ	掘り下げる。
1	95	最下行	Xトレンチ(図版35)	Xトレンチ(図版34図5)
1	99	下から16行	(新生児)	(新生児～1ヶ月)
1	101	18行	保ったで出土した。	保った状態で出土した。
1	102	註(1)の5行	日本考古学協会	東京堂出版
1	103	5行	辛島	幸島
1	103	16行	辛島	幸島
1	103	下から6行	図版109	図版106
1	105	11行	め午 後3時…	め午後3時…
1	105	14行	[第7号石棺]	[4号箱式石棺墓]
1	108	下から3行	副葬品が存在した	副葬品が存在した
1	110	14行	干の乱れているが、	干乱れているが、
1	114	註(1)の3行	日本考古学協会	東京堂出版
1	115	上から21行	器高は現状で10.6cmを測る。	器高は現状で11.0cmを測る。
1	115	下から8行	黒斑	黒斑
1	116	11行	黒斑	黒斑
1	117	18行	黒斑	黒斑
1	118	下から16行	黒斑	黒斑
1	119	4行	黒斑	黒斑
1	120	3行	口径は復元値で12.2cmを測る。	口径は復元値で13.2cmを測る。
1	120	下から16行	器高は現状で9.5cmを測る。	器高は現状で10.0cmを測る。
1	120	下から5行	黒斑	黒斑
1	121	下から13行	黒斑	黒斑
1	122	2行	口径は23.6cmを測る。	口径は14.6cmを測る。
1	122	3行	黒斑	黒斑
1	122	12行	口径は7.4cm、	口径は7.9cm、
1	123	下から12行	”ら出土。”の後に右の文章を追加	本資料は『弥生土器集成』PL.29の24に該当し、炉址遺構周辺から出土したとされる。
1	124	13行	現状の器高は15.4cm、	現状の器高は20.4cm、
1	124	下から14行	口径27.6cm、底径16.9cmを測る。	口径27.3cm、底径16.5cmを測る。
1	125	下から4行	86は高坏… (『は』が太字)	86は高坏… (『は』を通常の字に)
1	126	13行	底径は16.4cmを測る。	底径は16.0cmを測る。
1	127	7行	墓城の…	墓域の…
1	127	下から4行	図版179写真1	図版175写真1
1	129	下から18行	図版177	図版173
1	129	下から14行	図版177・178	図版173・174
1	129	下から10行	図版178・179	図版174・175
1	129	下から8行	図版179	図版175
1	129	下から4行	図版179・180	図版175・176
1	130	7行	図版180・181	図版176・177
1	130	15行	図版181・182	図版177・178
1	130	下から8行	図版182・183	図版178・179
1	130	下から4行	図版183	図版179
1	134	下から12行	図版187～189	図版183・184
1	134	下から8行	(図版65、図版188写真3)	(図版63、図版184写真3)
1	135	12行	図版186	図版182
1	135	17行	図版186	図版182
1	135	下から8行	図版185	図版180・181
1	135	最下行	図版186	図版182
1	136	5行	図版187	図版183
1	136	11行	図版62	図版62図2
1	139	下から15行	土井ヶ浜	土井ヶ浜
1	140	註(7)	前掲註3	前掲註6
1	142	4行	図版199	図版195
1	142	17行	図版190写真3	図版186
1	142	19行	成年男性	不明男性
1	142	下から14行	図版190・191	図版186・187
1	142	下から9行	成人女性	不明女性
1	142	下から6行	図版191	図版187
1	143	1行	図版199写真3	図版188
1	143	3行	図版192	図版188
1	143	9行	図版70図1	図版70
1	143	9行	図版192・193	図版189
1	143	10行	熟年初期の女性	壮年の女性
1	143	17行	図版193	図版190
1	143	下から17行	成年女性	不明女性

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
1	143	下から8行	図版197・198	図版194・195
1	144	3行	図版194	図版191
1	144	4行	生後1～2年	生後1～1.5才
1	144	7行	図版194・195	図版191・192
1	144	12行	図版195	図版192
1	144	13行	熟年女性	壮年女性
1	144	下から14行	1号・2号集骨遺構	1号・2号集骨遺構（810号人骨）
1	144	下から14行	図版196・197	図版193・194
1	145	20行	20も甕の底部で、外面は細かなハケメ調整。	2つ同じ文があるので1文削除
1	149	下から6行	弥生時代の土抗墓10基・箱式石棺墓1基・集骨遺構1基・その他…	弥生時代の土抗墓8基・箱式石棺墓1基・石囲墓2基・集骨遺構1基・その他…
1	149	下から2行	図版203	図版199
1	150	2行	成年女性	壮年女性
1	150	7行	図版203～205	図版199・200・201
1	150	10行	成年男性	熟年男性
1	150	下から16行	成年女性	壮年女性
1	150	下から3行	貝珠	貝小玉
1	151	2行	図版206	図版202
1	151	4行	熟年女性	不明女性
1	151	8行	図版206	図版202
1	151	10行	熟年の女性	不明の女性
1	151	15行	図版206	図版203
1	151	17行	成人男性2体、成人女性2体分の人骨……	不明男性2体、成人女性2体、幼児(2歳)、全部で5体分の人骨……
1	151	下から13行	熟年男性	老年男性
1	151	下から9行	図版207～209	図版204・205
1	151	下から7行	女性1体	男性1体
1	151	下から3行	図版208・209	図版204・205
1	152	6行	図版209	図版205
1	152	10行	人骨片や弥生…	人骨片(男性・不明)や弥生…
1	152	16行	成年の女性	不明の女性
1	152	下から18行	図版210	図版206
1	152	下から17行	生後6ヶ月位の…	生後2～3ヶ月位の…
1	152	下から12行	図版210	図版206
1	152	下から9行	成人男性	不明男性
1	152	下から4行	図版211	図版207
1	155	9行	貝珠	貝小玉
1	157	下から11行	図版214・215	図版210・211
1	157	下から4行	熟年男性	老年女性
1	158	1行目	成年男性	壮年男性
1	158	5行	図版215	図版211
1	158	6行	成年女性	壮年女性
1	158	6行	3才位の幼児	3才位の幼児
1	158	16行	図版216	図版212
1	158	17行	成年男性	壮年男性
1	158	下から15行	図版215・216・217	図版212・213
1	158	下から13-14行	20才代の成年女性1体と、胎齢8ヶ月の胎児1体が埋葬されていた。	熟年女性1体と、新生児1体が埋葬されていた。
1	158	下から12行	成年女性(1004A号)は、	熟年女性(1004A号)は、
1	158	下から10行	図版217	図版213
1	158	下から3行	胎齢8ヶ月の胎児骨	新生児骨
1	158	下から3行	図版217	図版213
1	159	5行	図版217	図版214
1	159	12行	図版217	図版214
1	161	2行	貝珠	貝小玉
1	162	最下行	図版218	図版215
1	163	6行	図版219	図版216
1	163	12行	図版219	図版216
1	163	18行	図版220	図版217
1	163	下から13行	図版22	図版217
1	163	下から7行	図版221	図版218
1	163	下から6行	乳児1体	乳児(2～3ヶ月)1体
1	163	下から5行	1～1.5才の…	1～1.5才の…
1	164	2行	図版221	図版218
1	164	8行	図版222	図版219
1	164	10行	熟年女性	熟年男性
1	164	15行	図版222	図版219
1	166	10行	図版223-1・2	図版220
1	164	17行	熟年男性	熟年男性
1	167	3行	図版224	図版221
1	167	8行	図版224	図版221
1	167	10行	成年女性頭骨	壮年女性頭骨
1	167	10行	老年女性頭骨	熟年男性頭骨
1	167	下から17行	図版225	図版222
1	167	下から15行	熟年女性の頭骨(1109A号)	老年女性の頭骨(1109A-SK-1号)
1	167	下から14行	小児1体(1109B号)	小児(7～8才)1体(1109B-SK-2号)
1	167	下から8行	図版225	図版222
1	167	下から6行	成年女性	壮年女性
1	167	下から3行	図版226	図版223
1	167	最下行	若年女性1体	壮年男性1体
1	168	6行	図版226～229	図版223～226
1	168	17～18行	図版229-2	図版226-2
1	168	下から6行	図版234-2	図版231-2
1	168	下から3行	図版230	図版227
1	168	下から14-13行	老年男性1体・熟年～老年男性1体・熟年男性5体・成年～熟年女性1体・若年2体	老年男性2体・熟年男性4体・老年女性1体・壮年女性3体
1	168	下から13-14行	熟年男性1体・熟年女性2体・若年2体で、中央寄りの2体はいずれも熟年女性であった。	老年男性2体・熟年男性1体・壮年女性2体で、中央寄りの2体は老年女性と壮年女性であった。
1	168	最下行	成人女性(2か所)	不明・不明
1	168	最下行	幼児1体	幼児(5才)1体
1	169	5行	図版230	図版227
1	169	7行	北側に成人男性	北側に不明男性

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
1	169	7行	南側に成人女性	南側に不明女性
1	169	13行	図版231	図版228
1	169	15行	熟年～老年	熟年～老年
1	169	19行	図版231	図版228
1	169	下から11行	図版232	図版229
1	169	下から10行	成年女性	熟年女性
1	169	下から8行	図版279：107	図版279：110
1	169	下から6行	図版232	図版229
1	169	下から4行	成年男性	熟年男性
1	170	1行	図版234-3	図版231-3
1	170	9行	図版233	図版230
1	170	10行	熟年～老年女性	熟年～老年女性
1	170	14行	図版233	図版230
1	170	18行	女性の上半身骨の下位には、老年や…	女性の上半身骨の下位には、熟年～老年…
1	170	18行	小児の骨が…	小児(11才)の骨が…
1	170	下から14行	図版234	図版231
1	170	下から12行	若年人骨1体	女性人骨1体
1	170	下から12行	成人男性人骨	成人男性人骨
1	173	下から11行	図版235～242	図版233～239
1	174	下から2行	図版240	図版237
1	178	5行	19は杯の底部で、	19は杯の底部で、
1	178	下から8行	回転渦巻き条痕を	回転渦巻き条痕を
1	179	下から12行	器高3.3cmである	残存器高3.3cmである
1	187	8行	名称を図1に示し、	名称を図13に示し、
1	187	9行	図13は	図14は
1	188	表8、287-7	902A号人骨(成年男性)	902A号人骨(熟年男性)
1	189	表8、295-52	902A号人骨(成年男性)	902A号人骨(熟年男性)
1	189	表8、295-57	902A号人骨(成年男性)	902A号人骨(熟年男性)
1	189	表8、295-58	902B号人骨(成年男性)	902B号人骨(壮年女性)
1	189	表8、295-60	907号人骨(熟年女性)	907号人骨(熟年男性)
1	189	表8、295-61	907号人骨(熟年女性)	907号人骨(熟年男性)
1	193	4行	集骨には男性5体、女性3体…	集骨には男性7体、女性3体…
1	196	13行	(成年男性)	(熟年男性)
1	196	下から9行	(成年男性)	(熟年男性)
1	196	下から5行	(成年男性)	(壮年女性)
1	196	下から4行	no. 59(図版295・296)	no. 59(図版295・296)
1	197	1行	(熟年女性)	(熟年男性)
1	197	4行	(熟年女性)	(熟年男性)
1	197	6行	(熟年女性)	(熟年男性)
1	197	10行	(熟年女性)	(熟年男性)
1	201	文章の最下行	(第5石棺の南)	(3号箱式石棺墓の南)
1	201	表10、297-150	(第5石棺の南)	(3号箱式石棺墓の南)
1	201	表10、297-151	(第5石棺の南)	(3号箱式石棺墓の南)
1	202	表11、備考欄	備考	備考(性別年齢は概報による)
1	203	14行	男性 6例	男性 5例
1	209	8行	昭和32年(1957)	昭和32(1957)年
1	215	4行	160基(16)	160基 ⁽¹⁶⁾
1	215	5行	出土した人骨は289体である。	出土した人骨は296体である。
1	215	6行	少なくとも295体以上となる。	少なくとも302体以上となる。
1	215	8行	少なくとも計330体以上	少なくとも計329体以上
1	215	9行	11基確認されて人骨11体	9基確認されて人骨9体
1	215	10行	累計341体以上	累計338体以上
1	215	12行	弥生人骨289体について、	弥生人骨296体について、
1	215	15行	約19%と低い。	約16.9%と低い。
1	215	表14、個体数	男性124、女性100、不明8、未成人54、不明3、合計289	男性134、女性105、不明6、未成人50、不明1、合計296
1	215	表14、比率	男性42.9、女性34.6、不明2.8、未成人18.7、不明1.0	男性45.3、女性35.5、不明2.0、未成人16.9、不明0.3
1	215	下から6行	86基	87基
1	215	下から5行	30基、(261体)	29基、(269体)
1	216	表15、東群	その他41、小計86、集骨遺構30	その他42、小計87、集骨遺構29
1	216	表15、西群	配石4、小計22、集骨遺構2、散乱人骨3、合計27	配石5、小計23、集骨遺構3、散乱人骨2、合計28
1	216	表15、合計	配石36、その他59、小計109、散乱人骨6、合計160	配石37、その他60、小計111、散乱人骨5、合計161
1	216	19行	土坑墓22基・集骨遺構2基、散乱人骨3基の計27基(27体)	土坑墓23基・集骨遺構3基、散乱人骨2基の計28基(26体)
1	217	21行	26%	31%
1	217	表16、東群(体)	男性124、女性100、不明8、未成人54、不明2、合計261	男性124、女性96、不明6、未成人42、不明1、合計269
1	217	表16、東群(%)	男性(43)、女性(35)、不明(2)、未成人(18)、不明(1)	男性(46)、女性(36)、不明(2)、未成人(16)、不明(0)
1	217	表16、西群(体)	不明1、未成人7、不明1、合計27	不明0、未成人8、不明0、合計26
1	217	表16、西群(%)	男性(37)、女性(30)、不明(4)、未成人(26)、不明(4)	男性(38)、女性(31)、不明(0)、未成人(31)、不明(0)
1	217	表16、合計	男性124、女性100、不明8、未成人54、不明3、合計289	男性134、女性105、不明6、未成人50、不明1、合計296
1	217	下から15行	18%	16%
1	220	表18、体数	幼児20、計54	幼児22、計50
1	220	表18、(%)	新生児7、乳児15、幼児37、小児30	新生児8、乳児16、幼児44、小児32
1	221	4行	(第12表)	(表23)
1	221	6行	33.2%	32.4%
1	221	9行	46%	47%
1	223	下から6行	この行の全文を、下から8行目へ移動	
1	224	表20、欄外	合葬9基	合葬8基
1	224	表21、410号	性別-土坑墓 年齢-中期?	女性 成年

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
1	224	表21、1004A号	成年	熟年
1	224	表21、1004B号	胎齡8ヶ月位	胎齡7ヶ月位
1	224	表21、1111A号	女性 若年	男性 壮年
1	226	表22	タイトル行が二つあるので、1行削除	
1	226	表22、22号	(d3号)	(22-1号)
1	226	表22、6号石冪墓ST902	成年女性 成年～熟年男性	壮年女性 成年～熟年男性
1	226	表22、ST1001	熟年男性？ 成年男性	老年女性 壮年男性
1	228	12行	160基	161基
1	228	13行	289体	296体
1	228	13行	再葬墓での人骨数は95体で約33.4%	再葬墓での人骨数は96体で約32.4%
1	228	18行	分類できる(78)が、	分類できる ⁽⁷⁸⁾ が、
1	228	21行	(ST1107・ST 1117など)と、複数体のもの(ST1002・ST 1109・ST 1112など)がある。	(ST1107・ST1117など)と、複数体のもの(ST1002・ST1109・ST1112など)がある。
1	228	下から12行	複数体のもの(ST905・ST 1121など)がある。	複数体のもの(ST905・ST1121など)がある。
1	228	下から3-4行	老年男性1体・熟年～老年男性1体・熟年男性6体・老年女性4体・成年～熟年女性1体・若年4体・	老年男性4体・熟年～老年男性1体・熟年男性5体・老年女性2体・壮年女性6体・若年4体・
1	229	表23、ST1108	成年女性1・老年女性1	熟年男性1・壮年女性1
1	231	下から10行	であろう。(415…あるか)	であろう(なお、415…あるかもしれない)。
1	232	下から17行	20歳代の成年女性(1004A)と胎児(1004B、胎齡8ヶ月)の合葬墓	熟年女性(1004A)と胎児(1004B、胎齡7ヶ月)の合葬墓
1	241	表25、d3(22)号	d3(22)号	22-1号
1	241	表25、23号	23号 熟年	22-2号 不明
1	241	表25、b4・5号	b4・5号	46号
1	241	表25、b4・5号		備考欄「……『生成』に凶なし」の後に「、b4,5」を追加。
1	241	表25第1次調査 最下枠内	以上のほかに、…(松下によれば13体分)	以上のほかに、…(松下によれば14体分)
1	241	表25、第1次調査枠外	○箱式石棺墓1基……の上に右記を追加	上記のほかに、2号(男性)、A01(男性)、6号(女性)が存在する。
1	241	表25、第2次	第2次(1954年)	第2次調査(1954年)
1	243	表25、142号		行を削除
1	243	表25、143号	143号 J4号 ? ?	142号 142号 不明 不明 備考欄に「J4人骨」を追加。
1	243	表25、第2次調査枠外	○弥生:石棺墓1基…土抗墓11基(18体)、集骨5基(17体)…(3体)―成人男性22体・成人…不明3体・未成人3体・不明1体、合計47体	○弥生:石棺墓1基…土抗墓12基(19体)、集骨4基(15体)…(3体)―成人男性23体・成人…不明2体・未成人3体・不明1体、合計46体
1	245	表25、第3次調査枠外	○石棺墓1基(2体)、土抗墓20基(43体)…成人女性21体・不明1体…合計69体	○石棺墓1基(2体)、土抗墓20基(42体)…成人女性21体・不明1体…合計68体
1	246	表25、415号	414号をるか?	414号を切るか?
1	247	表25、801号	成年	不明
1	247	表25、802号	成人	不明
1	247	表25、805号	熟年	壮年
1	247	表25、806B号	熟年	不明
1	247	表25、807号	1歳後半～2歳前後	1～1.5歳
1	247	表25、809号	熟年	壮年
1	247	表25、第8次調査枠外	土抗墓7基(8体)、集骨2基(1体)	土抗墓7基(7体)、集骨3基(2体)
1	247	表25、901号	成年	壮年
1	247	表25、902A号	成～熟年	成～熟年
1	247	表25、903号	熟年	不明
1	247	表25、904号	熟年	不明
1	247	表25、905-1号	成人	不明
1	247	表25、905-2号	成人	不明
1	247	表25、905-3号	成人	不明
1	247	表25、905-4号	成人	不明
1	248	表25、906号	熟年	老年
1	248	表25、907号	女性	男性
1	248	表25、ST908	— —	男性 不明
1	248	表25、909号	(909b号)	(909a号)
1	248	表25、第9次調査枠外	○石棺墓1基、石冪墓2基…集骨1基(5体)―成人男性6体・成人女性8体…	○石棺墓1基(1体)、石冪墓2基…集骨1基(5体)―成人男性7体・成人女性7体…
1	248	表25、第9次調査枠外	上記の下に追加	908(箱式石棺)は昭和6年に発見された石棺と思われる。ST908から出土した人骨はカウントしていない。
1	248	表25、1001A号	成年	壮年
1	248	表25、1001B号	男性？ 熟年	女性 老年
1	248	表25、1002A号	成年	壮年
1	248	表25、1003号	成年	男性
1	248	表25、1005号	老年	不明
1	248	表25、第10次調査枠外	○土抗墓4基…―成人男性4体、成人女性2体…	○土抗墓4基…―成人男性3体、成人女性3体…
1	248	表25、1122号	熟年	不明 遺構番号に「ST1122」を追加
1	248	表25、1122号と11913号の間		「1123号 女性 熟年 1988年2月末出土」を追加
1	248	表25、11913号	11913号	913号 「1988年1月調査」を備考欄に追加
1	248	表25、11914号	11914号	914号 「1988年1月調査」を備考欄に追加
1	248	表25、11915号	11915号	915号 「1988年1月調査」を備考欄に追加
1	248	表25、第11次調査枠外	○弥生:土抗墓…―成人男性4体、成人女性3体、未成人2体、合計9体/…総合計10体	○弥生:土抗墓…―成人男性4体、成人女性4体、未成人2体、合計10体/…総合計11体
1	249	表25、1107号の備考欄		備考欄に「12歳」を追加
1	249	表25、1108B号	成年	壮年
1	249	表25、1108C号	女性 老年	男性 熟年
1	249	表25、1111A号	女性	男性
1	249	表25、ST1112の埋葬形式欄	集骨遺構(23体分)	集骨遺構(24体分) (男12、女8、幼少児4)
1	249	表25、1112(SK-6)号	男性 熟年	女性 壮年
1	249	表25、1112(SK-9)号の備考欄	…23体分(男性12、女性7、小児1、幼児3)の人骨	…24体分(男性12、女性8、小児3、幼児1)の人骨
1	249	表25、1113A号	女性？ 成人	不明 不明
1	249	表25、1114A号	成人	不明
1	249	表25、1114B号	成人	不明
1	249	表25、1115号	熟～老年	熟～老年
1	249	表25、1116号	翡翠製小玉1	アマゾナイト製小玉1
1	250	表25、1117号	成年	熟年
1	250	表25、1119号	熟～老年	熟～老年
1	250	表25、第11次後期調査枠外1行目	○土抗墓…集骨5基(27体)―成人男性15体、成人女性14体、未成人14体、合計43体	○土抗墓…集骨5基(35体)―成人男性24体、成人女性18体、性別不明1体、未成人8体、合計51体
1	250	表25、第11次後期調査枠外	*第8次～11次調査出土…	一文削除

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
1	250	表25、第13次調査枠外	○弥生:土抗墓4基(4体)…未成人2体、合計4体 / 近世:土抗墓2基(2体)…未成人1体、	○弥生:土抗墓5基(5体)…未成人3体、合計5体 / 近世:土抗墓1基(1体)・・・未成人1体、
1	250	表25、第13次調査枠外	上記の下に右記を追加	乗安氏はST1304を近世と考えているが第2分冊(人骨編)に従い弥生とした。
1	250	表25、1601号	前期中葉	前期中葉
1	251	表25、19-Y-1	19-Y-1	1900-Y-1
1	251	表25、19-Y-2	19-Y-2	1900-Y-2
1	251	表25、19-Y-3	19-Y-3	1900-Y-3
1	251	表25、19-Y-4	19-Y-4	1900-Y-4
1	251	表25、第19次調査枠外	第8～11次調査出土…。	一文削除
1	251	表25、第19次調査枠外	◎発掘調査での検出埋葬遺構数=171基(弥生墓160基、中世・近世:11基-	◎発掘調査での検出埋葬遺構数=170基(弥生墓161基、中世・近世:9基-
1	251	表25、第19次調査枠外	- 弥生墓160基内訳:土抗墓109…・散乱人骨6…、中近世墓11基内訳:…土抗墓7	- 弥生墓161基内訳:土抗墓111…・散乱人骨5…、中近世墓9基内訳:…土抗墓5
1	251	表25、第19次調査枠外	◎発掘調査での遺構に…=313体(弥生:302体、中世・近世11体…	◎発掘調査での遺構に…=305体(弥生:296体、中世・近世9体…
1	251	表25、第19次調査枠外	追加	註:人骨の体数が、本表と第2分冊の人骨一覧表では若干異なっているところがある。大きな違いは、第1次調査の出土体数であるが、本表は図面や記録から人骨番号や体数を記録している。一方、第2分冊(人骨編)の人骨一覧表は、実際に存在する人骨を基にして一覧表を作成したので、両者で異なる数値となってしまった。なお、乗安氏が2014年に逝去されたので、両表のすりあわせをすることができなかった。できるだけ元表を残して、誤記などは事務局で訂正した。
1	253	Contents III-11のページ	154	156
1	253	Contents III-12のページ	160	162
1	253	Contents III-13のページ	164	166
1	253	Contents III-14のページ	171	173
1	253	Contents III-15のページ	175	177
1	253	Contents III-16のページ	185	187
1	253	Contents IVのページ	抜けている	209

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
2	1	最下行		10. 利便性を考慮し個票に人骨の実測図を掲載しているが、縮尺スケールが正確でないものも含まれている。実測図と写真については第4分冊(図版編)を参照されたい。
2	2	6行	18	19
2	2	7行	31	32
2	2	8行	35	36
2	2	9行	47	48
2	2	10行	52	53
2	2	12行	269	272
2	3	表1～表17までの頁		1頁不足
2	3	表18～表25までの頁		2頁不足
2	3	表18～表25までのタイトル	「計測値」	削除
2	4	表26～表68までの頁		2頁不足
2	4	表のタイトルに「計測値」とあるもの	「計測値」	削除
2	4	表44、45	推定身長値1	推定身長値
2	4	表46、47	推定身長値2	推定身長値
2	4	表53	頭蓋計測値	脳頭蓋
2	4	表66	最大長比	最大長の比
2	4	表67	中央周比	中央周の比
2	5	表69～表80までの頁		2頁不足
2	5	表のタイトルに「計測値」とあるもの	「計測値」	削除
2	5	表69	頭蓋計測値	脳頭蓋
2	8	表1-1、人骨番号22	22	22-1
2	8	表1-1、人骨番号22の下		「 〃 22-2 不明 不明 人骨なし
2	8	表1-1、最下行		「 〃 46 不明 不明 備考欄「牛の埋葬によって攪乱を受けたと考えられる人骨。人骨なし。第4分冊13ページ図版6参照。出土体数にはカウントしていない。」
2	8	表1-1「記録」	記録	記録(金関メモ)
2	9	表1-2、122		備考欄に「表2参照」を追加
2	9	表1-2、124	壮年	熟年
2	9	表1-2、142の備考欄	下顎骨のみ、出土地点不明、成人	下顎骨のみ、出土地点不明、成人、J4人骨
2	10	表1-2、207-1		備考欄に「個票3-7参照。」を追加
2	11	表1-2、305	埋葬 1005人骨と同一個体	攪乱 1005人骨と同一個体
2	11	表1-2、408	不明	熟年
2	12	表1-2、807		年齢欄に「1～1.5歳」を追加
2	12	表1-2、902Aの遺構欄		「石囲墓(6号)」を追加
2	12	表1-2、902Bの遺構欄	石囲墓(6号)	削除
2	12	表1-2、908の性別、年齢区分		男・不明 備考欄文最後尾に「、9次調査出土人骨」を追加。
2	13	表1-2、1004B	胎齡8ヶ月	胎齡7ヶ月
2	13	表1-2、1005の性別区分欄	老年	不明
2	13	表1-2、1005の備考欄	305と同一個体	削除
2	13	表1-2、1109	6体分	7体分
2	13	表1-2、1120A下1	熟年	熟年～老年
2	13	表1-2、1122	熟年	不明
2	13	表1-2、1123	男 不明	女 熟年
2	14	表1-2、1305	女性	女
2	14	8行	〃 〃	削除
2	14	表1-2、1402	男性	男
2	14	表1-2、1405	男性	男
2	14	表1-2、1406	男性	男

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
2	14	1407の性別欄と1601の性別欄の間	—	削除
2	14	表1-2、第14次調査の下に追加		第15次 1996(平成8)年 1501 男 不明 攪乱 右側大腿骨体のみ
2	14	表1-2、第14次調査の下に追加		〃 〃 1502 男 不明 攪乱 左側膝蓋骨のみ
2	14	表1-2、1601	女性	女
2	14	表1-2、1603	女性	女
2	14	表1-2、1604	女性	女
2	14	表1-2、1701		備考欄に「四肢骨のみ」を追加
2	14	表1-2、第17次調査の下に追加		第18次 1999(平成11)年 SK-1 不明 壮年 散乱 - 後頭骨片1点
2	14	表1-2、1901-Y-1	1901-Y-1	1900-Y-1 備考欄に「ST1901から出土した人骨」を追加。
2	14	表1-2、1901-Y-2	1901-Y-2	1900-Y-2 備考欄に「ST1901、1902、1905から出土した人骨」を追加。
2	14	表1-2、1901-Y-3	1901-Y-3	1900-Y-3 備考欄に「ST1901、1902、1905から出土した人骨」を追加。
2	14	表1-2、1902	1902	1900-Y-4 男 不明 備考欄に「ST1902から出土した人骨」を追加。
2	15	表2、S35-AM-1	S35-AM-1、熟年	S35-MA-1、熟年～老年
2	15	表2、S35-AM-2	S35-AM-2	S35-MA-2
2	15	表2、S35-AM-3	S35-AM-3、熟年	S35-MA-3、熟年～老年
2	17	表2、1112-FE-8	女	男
2	18	表2、Y-1・Y-2・Y-3・Y-4	Y-1 Y-2 Y-3 Y-4	1900-Y-1 1900-Y-2 1900-Y-3 1900-Y-4
2	18	表2、Y-2	ST1901と1902から出土	ST1901・1902・1905から出土
2	18	表2、SC-1	不明	男
2	20	8行	22	22-1
2	20	18行	5体分	6体分
2	20	19行	13体分	14体分
2	20	20行	13体分	14体分
2	20	23行	22	22-1
2	21	4行	13体分	14体分
2	22	最下行	9体(305〔男〕、306〔小児〕…	8体(305〔男〕、306〔小児〕……
2	23	4行	埋葬人骨が9体(男:2	埋葬人骨が8体(男:1
2	23	5行	他に集骨などは9体(男:2	他に集骨などは10体(男:3
2	23	表3-4 埋葬状態を保っている人骨	男性 2 合計 9	男性 1 合計 8
2	23	表3-4 集骨・散乱骨	男性 2 合計 9	男性 3 合計 10
2	25	表3-8	幼小児 合計 3	幼小児 合計 2
2	26	2行	検出されたのは17体…	検出されたのは16体…
2	26	4・5行	1123〔男〕	削除
2	26	7・8行	…出土したものは24体(男12、女7、不明1、幼少児4)	…出土したものは23体(男11、女7、不明1、幼少児4)
2	26	8行	…は近世人骨である。	…は近世人骨である。 ^①
2	26	18行	(男11、女4、小児1)	(男12、女3、小児1)
2	26	19行	…少なくとも23体(男11、女8	…少なくとも24体(男12、女8
2	26	21行	23体	24体
2	26	22行	…および2体分の合計35体分であり、	…および2体分の合計36体分であり、
2	26	23行	1108C〔男〕があり、これを含めると合計37体分である。	1108C〔男〕 ^② があり、これを含めると合計39体分である。
2	26	表3-10 埋葬状態を保っている人骨	男性 12 合計 23	男性 11 合計 22
2	26	表3-10 集骨・持ち込み	男性 16 女性 14 合計37	男性 17 女性 15 合計 39
2	26	表3-10 合計	女性 21 合計 61	女性 22 合計 62
2	27	2行	(1303〔不明〕)	(1303〔幼児〕)
2	27	14行	4体(1402、1403、1405、1406)	4体(1402〔男〕、1403〔乳児〕、1405〔男〕、1406〔男〕)
2	27	最下行	13次調査で出土…	16次調査で出土…
2	28	表3-13	(含成年)	削除
2	28	下から17行	埋葬遺構も人骨も出土しなかった。	人骨片1点が出土している。
2	28	下から9行	肩甲骨5体分(女1、性別不明4)	肩甲骨4体分(女1、男1、性別不明2)
2	29	10行	11次61体	11次62体
2	29	11行	合計133体である。	合計134体である。
2	29	12行	総数は306体になる。	総数は307体になる。
2	29	14行	および1次調査中に再発掘した人骨13	および1次調査中に再発掘した人骨14
2	29	15行	出土総数は334体となる。	出土総数は336体となる。
2	29	16行	306体のうち、	307体のうち、
2	29	17行	弥生人骨は297体である。297体…	弥生人骨は298体である。298体…
2	29	18行	成人骨は246体で…未成人骨の占める割合は17.2%となる。	成人骨は247体で、…未成人骨の占める割合は16.6%となる。
2	29	20行	成人骨246体のうち、…女性骨は104体で、	成人骨247体のうち、…女性骨は105体で、
2	29	23行	弥生人骨の総数は303体となる。	弥生人骨の総数は304体となる。
2	29	27行	体数は上記の299体よりも少ないと推測される。	体数は上記の304体よりも少ないと推測される。
2	29	表3-16、弥生人骨	女性 104 合計 297	女性 105 合計 298
2	29	表3-16、合計	女性 107 合計 306	女性 108 合計 307
2	30	4行	そのうち1体…	そのうち2体…
2	30	5行	ださ れている。	だされている。
2	30	12行	埋葬人骨が9体、集骨などは9体で、	埋葬人骨が8体、集骨などは10体で、
2	30	19行	…保っているものが24体、集骨などは37体で、合計61体…	…保っているものが22体、集骨などは39体で、合計62体…
2	30	下から13行	散乱骨1体が出土した。	散乱骨1点が出土した。
2	30	下から11行	弥生人骨が297体、	弥生人骨が298体、
2	30	下から10行	総計306体である。	総計307体である。
2	30	下から9行	1次調査で再発掘した人骨13体…	1次調査で再発掘した人骨14体…
2	30	下から8行	334体	336体
2	30	下から5行	297体の弥生人骨のうち246体	298体の弥生人骨のうち247体
2	30	下から4行	104体で、	105体で、
2	31	4行	*10次調査では、…。	削除
2	31	12行	追加	※①：1123は工事中に発見された人骨で埋葬姿勢は不明である。
2	31	13行	追加	※②：と出土状況が不明なもの1体(1123〔女〕)
2	32	下から16行	902B女	902A男

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
2	32	下から15行	被葬者はすべて女性であることは興味深い。	被葬者が5例中1例を除いて女性であることは興味深い。
2	33	下から3行	111A 男	1111A 男
2	37	下から6行	126 (男性、壮年)	126(男性・壮年)
2	41	表4、1122	熟年	不明
2	44	表4、S35-MA3	熟年	熟年～老年
2	49	表5	S6-1 女性 熟年	S6-1 女性 老年
2	49	表5、124	壮年	熟年
2	50	表5、408	不明	熟年
2	51	表5、1112-SK7	老年	熟年
2	52	表5、1123	不明	熟年
2	85	表19	1109-SK1、1112-SK2、1112-SK6、1112-SK13、1112-SK14、1112-SK15、1112-SK16、1112-SK21	1109SK1、1112SK2、1112SK6、1112SK13、1112SK14、1112SK15、1112SK16、1112SK21
2	86	表19	35SK1	S35SK1
2	95	表21	1109-SK1	1109SK1
2	104	表23	1109-SK1、1112-SK2	1109SK1、1112SK2
2	105	表23	1112-SK13、1112-SK14、1112-SK15、1112-SK16、1112-SK20、1112-SK21、S35-SK1	1112SK13、1112SK14、1112SK15、1112SK16、1112SK20、1112SK21、S35SK1
2	236	表52	表52 形態小変異の出現頻度	表52 形態小変異 (男女)
2	249	表68	表68 形態小変異の出現頻度	表68 形態小変異
2	250	表69 1903	5歳	4歳
2	250	表69 1904	14歳	15歳
2	251	表70 1903	5歳	4歳
2	251	表70 1904	14歳	15歳
2	252	表71 1903	5歳	4歳
2	252	表71 1904	14歳	15歳
2	254	表72 1903	5歳	4歳
2	254	表72 1904	14歳	15歳
2	255	表73 1904	14歳	15歳
2	255	表73 1903	5歳	4歳
2	257	表74 1903	5歳	4歳
2	257	表74 1904	14歳	15歳
2	259	表75 1903	5歳	4歳
2	259	表75 1904	14歳	15歳
2	260	表76 1903	5歳	4歳
2	263	表77 1904	14歳	15歳
2	263	表77 1903	5歳	4歳
2	265	表78 1904	14歳	15歳
2	265	表78 1903	5歳	4歳
2	266	表79 1903	5歳	4歳
2	270	表 形態小変異 1903	5歳	4歳
2	270	表 形態小変異 1904	14歳	15歳
2	278	マツバガイ腕輪	図版293	図版294
2	278	マツバガイ腕輪	図版293-31	図版294-32
2	278	マツバガイ腕輪	図版293-32	図版294-31
2	280	7の備考		削除
2	280	個票1-7、下の図		図の下顎骨7と8の間の下顎骨に12を付記
2	281	1. 人骨番号	22 (d3人骨)	22-1、22-2 (d3人骨)
2	281	個票1-8 性別	-	女性
2	282	個票2-1	10. 備考	削除
2	283	碧玉製管玉	図版277-6	図版278-6
2	285	104号供伴ゴホウラ腕輪	図版285-4	図版286-4
2	285	104号供伴ゴホウラ腕輪	図版285-5	図版286-5
2	285	104号供伴マガキガイ指輪	図版295-49	図版286-49
2	285	104号供伴マガキガイ指輪	図版295-50	図版286-50
2	285	碧玉製管玉	図版277-7	図版278-7
2	285	碧玉製管玉	図版277-8	図版278-8
2	289	10. 備考	[108-1 (男性)、108-2 (女性)、108-3 (乳児)]	[108-1(男性・熟年)、108-2(女性・不明)、108-3(乳児)]
2	290	碧玉製管玉	図版277-9	図版278-9
2	291	20行	別個体の下顎骨あり。	別個体の下顎骨(110a)あり。
2	294	石鏃	図版279-93	図版280-93
2	295	石鏃	図版277	図版280
2	295	ゴホウラ腕輪	図版281-2	図版284-2
2	295	ゴホウラ腕輪	図版281-3	図版284-3
2	298	マガキガイ指輪	図版295-55	図版296-55
2	298	マガキガイ指輪	図版295-53	図版296-53
2	298	碧玉製管玉	図版277	図版278
2	300	ハイガイ腕輪	図版293	図版294
2	314	長頸壺	図版249-53	図版250-53
2	337	翡翠製勾玉	図版277-2	図版278-2
2	338	碧玉製管玉	図版277	図版278
2	351	ユキノカサガイ腕輪	図版293-25	図版294-25
2	363	管玉	図版277-21	図版278-21
2	375	人骨データ 304-1の年齢欄	老年	不明
2	375	人骨データ 304-2の性別欄	男性	女性
2	376	2行	305 (1005)	305-(1005)-
2	376	10. 備考	・当初305と1005は同一個体と思われていたが、検討結果、別個体と判明。	削除
2	379	9行	上肢	下肢
2	380	9行	上肢	下肢
2	381	9行	上肢	下肢
2	382	9行	上肢	下肢
2	382	碧玉製管玉	図版277-22	図版278-22
2	383	9行	上肢	下肢
2	384	9行	上肢	下肢
2	386	9行	上肢	下肢
2	386	9. 保管場所	頭蓋は土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムで保管。	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムで保管。
2	386	アマゾナイト製小玉	図版277-3	図版278-3
2	386	碧玉製管玉	図版277-23	図版278-23
2	387	9行	上肢	下肢
2	387	図(401)	図中の方位記号がおかしい。	180度回転

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
2	388	9行	上肢	下肢
2	389	9行	上肢	下肢
2	393	9行	上肢	下肢
2	394	9行	上肢	下肢
2	395	9行	上肢	下肢
2	396	9行	上肢	下肢
2	397	9行	上肢	下肢
2	397	図(412)	図中の方位記号がおかしい。	180度回転
2	398	9行	上肢	下肢
2	399	9行	上肢	下肢
2	400	9行	上肢	下肢
2	400	12行	老年	熟年
2	400	図(415)	図中の方位記号がおかしい。	180度回転
2	401	9行	上肢	下肢
2	402	9行	上肢	下肢
2	403	9行	上肢	下肢
2	404	9行	上肢	下肢
2	405	9行	上肢	下肢
2	405	図(420)	図中の方位記号がおかしい。	180度回転
2	406	9行	上肢	下肢
2	410	図(704)	図中の方位記号がおかしい。	180度回転
2	411	土師器	図版273-35	図版274-35
2	411	土師器	図版277-36	図版274-36
2	411	土師器	図版277-37	図版274-37
2	415	銭貨	図版275	図版276
2	418	ゴホウラ腕輪	図版291-17	図版292-17
2	422	図(809)のスケール	20cm	30cm
2	425	5. 埋葬遺構	土壌墓	石囲墓 (6号石囲墓)
2	425	図(902A)		右側の小円で囲まれた部分も902B。 円で囲まれていない部分が902A
2	425	ゴホウラ腕輪	図版287-7	図版288-7
2	425	アツソデガイ腕輪	図版291-18	図版292-18
2	425	イモガイ腕輪	図版293-20	図版294-21
2	425	マガキガイ指輪	図版295-57	図版296-57
2	425	マガキガイ指輪	図版295-52	図版296-52
2	425	図(902A)	図中の方位記号がおかしい。	時計まわりに90度回転
2	426	5. 埋葬遺構	石囲墓 (6号石囲墓)	土壌墓
2	426	図(902B)	図中上部の「902A」	削除
2	426	図(902B)	図中の方位記号がおかしい。	時計まわりに90度回転
2	426	マガキガイ指輪	図版295-58	図版296-58
2	430	8行	右・105度、左・不明	右・不明、左・105度
2	431	10. 備考	・別の下顎骨が混入。	・別の下顎骨(907a)が混入。
2	431	マガキガイ指輪	図版295	図版296
2	432	8・9行の間		「性別：男性 年齢：不明」を追加
2	433	10. 備考	・新生児の右脛骨が混入。	・新生児(909a)の右脛骨が混入。
2	437	3行	9次調査	11次調査
2	437	4行	1984年(昭和59年)	1988年(昭和63年)
2	438	3行	9次調査	11次調査
2	438	4行	1984年(昭和59年)	1988年(昭和63年)
2	439	3行	9次調査	11次調査
2	439	4行	1984年(昭和59年)	1988年(昭和63年)
2	439	28行	10枚以上	12枚以上
2	439	銭貨	図版275	図版276
2	447	2行	1005 (305)	1005-(305)-
2	447	12行	年齢：老年	年齢：不明
2	447	13行	推定身長：163.09cm(大腿骨・左) (Pearson式)	削除
2	447	10. 備考		削除
2	454	図	1008(A~C)	1108(A~C)
2	455	碧玉製管玉	図版277-24	図版278-24
2	455	碧玉製管玉	写真変更	別添PDF参照
2	455	右側の図と写真	1008(A~C)	1108(A~C)
2	456	図と写真	1008(A~C)	1108(A~C)
2	457	図と写真	1008(A~C)	1108(A~C)
2	458	マガキガイ指輪	図版275-54	図版296-54
2	459	1109(集骨) TB-2	女性	男性
2	463~483	図	図に番号なし	別添PDF参照
2	473	10行	年齢：小児(4歳)	年齢：幼児(4歳)
2	479	10行	壮年	老年
2	493	10行	年齢：不明(16歳以上)	年齢：不明(16歳以上)-
2	494	人骨データ HU-1の年齢欄	老年	不明
2	494	人骨データ HU-8の性別欄	不明	女性
2	494	碧玉製管玉	図版277	図版278
2	494	碧玉製管玉	25、27、28、29、30、31の写真変更	別添PDF参照
2	495	人骨データ FE-8の性別欄	女性	男性
2	503	碧玉製管玉	図版277	図版278
2	503	碧玉製管玉	32の写真変更	別添PDF参照
2	506	碧玉製管玉	図版277	図版278
2	510	3行	11次調査	1988年2月末工事中出土
2	515	サトウガイ類腕輪	図版295-47	図版296-47
2	514	下から4行	土器：壺・1点(頭頂部)	土器：無
2	515	図(1305)	図中の方位記号がおかしい。	180度回転
2	529	下から4行	土器：無	土器：壺片
2	530	15行	脛骨、	削除
2	532	写真		「1901」と表記
2	532	アツソデガイ腕輪	図版291-19	図版292-19
2	532	10. 備考	・ほぼ1体分。	・12体分。
2	532	人骨データ表、Y-1、Y-2、Y-3、Y-4	Y-1、Y-2、Y-3、Y-4	1900-Y-1、1900-Y-2、1900-Y-3、1900-Y-4
2	532	人骨データ表、Y-1	62.28cm(右大腿骨)	162.28cm(右大腿骨)
2	532	人骨データ表、Y-2	ST1901と1902から出土	ST1901・1902・1905から出土
2	532	MA-1 MA-2	ST0901から出土	ST1901から出土
2	532	MA-3	ST0902から出土	ST1902から出土

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
2	532	MA-4 MA-5	ST0905から出土	ST1905から出土
2	533	人骨データ	SC-1 不明	SC-1 男性
2	533	人骨データ 出土遺構	ST0901、ST0902、ST0905としているもの全て	ST1901、ST1902、ST1905に変更
2	534	ユキノカサガイ腕輪	図版293-26	図版294-26
2	539	1105	老年	熟年
2	546	1105	老年	熟年
2	553	1105	老年	熟年
2	559	224	224	224-SK-1
2	560	1105	老年	熟年
2	560	1108	1108・男性・熟年	1108B・女性・壮年
2	560	1112B	1112B	1112-SK-2
2	563	1112	1112	1112-SK-8
2	564	421	女性 壮年 (骨折痕)	女性 熟年 (骨折痕)
2	564	1002	1002	1002A

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
3	2	目次	(Ⅷ総括のページ数) 335	337
3	23	図2 土井ヶ浜遺跡出土弥生土器編年図(2) V期	39・49:10次調査	39・40:10次調査
3	39	表1 土井ヶ浜遺跡出土スィショウガイ科腕輪	902A号人骨(成年男性)	902A号人骨(熟年男性)
3	206	註の70	(北町教育委員会)	(豊北町教育委員会)
3	209	表2 913号人骨	9次調査	1 1次前期調査
3	209	表2 914号人骨	9次調査	1 1次前期調査
3	209	表2 915号人骨	9次調査	1 1次前期調査
3	209	表2 1122号人骨	1988年2月末	1988年2月10日
3	209	表2 1123号人骨	1988年2月10日	1988年2月末
3	209	表2 1603号人骨		行の右端に「中世人骨」と追記
3	338	下から9行	297体	298体
3	338	下から8行	306体	307体
3	338	下から6行	13体、334体	14体、336体
3	338	下から2行	297体、246体、246体	298体、247体、247体
3	338	下から1行	104体	105体

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
4	2	目次 図版14	136~140号人骨出土状況 v	136~140号人骨出土状況実測図
4	4	目次 図版132-1	南西から	南東から
4	4	目次 図版171-1	北西から	西北から
4	5	図版200	(西から)	(南から)
4	5	図版200	(西から)	(北から)
4	5	図版210	ST1001A(北から)	ST1001B(東から)
4	5	図版211	ST1001B(西から)	ST1001A(北西から)
4	5	図版212	(西から)	(南から)
4	5	図版214	(西から)	(南から)
4	5	図版217	(東から)	(北から)
4	5	図版217	(北から)	(北西から)
4	5	図版222	(北から)	(西から)
4	11	図版4	ページ左上隅の図版番号(縦書き)が抜けている	図版4 第1次調査
4	11	図版4-1	(1号箱式石棺)	(1号箱式石棺墓)
4	11	図版4-2	図中の方位記号がおかしい。	180度回転
4	18	図版11-3	J4人骨出土状況実測図	142号人骨出土状況実測図
4	20	図版13	ページ右上隅の図版番号(縦書き)が抜けている	図版13 第2次調査
4	31	図版23	218号(小児頭蓋)	218号
4	35	図版27-2	234a・234b号人骨出土状況実測図	234a・234b号人骨出土状況実測図
4	35	図版27-2	図中 234b	234b
4	37	図版29-1	タイトルが抜けている	1. 245~247号人骨出土状況実測図(1/20)
4	50	図版41	タイトルが抜けている	Yトレンチ黒砂層上部遺物出土状況実測図(1/20)
4	54	図版45	ページ右上隅の図版番号(縦書き)が抜けている	図版45 第5次調査
4	80	図版69-2	図中の方位記号がおかしい。	180度回転
4	88	図版77	ページ右上隅の図版番号(縦書き)が抜けている	図版77 第9次調査
4	90	図版79	ページ右上隅の図版番号(縦書き)が抜けている	図版79 第9次調査
4	92	図版81-5	断面図のレベル値が抜けている	4.07m
4	93	図版82	ページ左上隅の図版番号(縦書き)が抜けている	図版82 第10次調査
4	96	図版84	図中右上の石だまり	「SX1001」を追記
4	100	図版88	人骨番号なし	「1004A号」、「1004B号」と追記(別添PDF参照)
4	101	図版89	第11次調査	第10次調査
4	101	図版89-2	SX1003の表記がない	SX1004の右隣にあるのがSX1003
4	107	図版95-2	図中に	「サザエ蓋」と追記(別添PDF参照)
4	109	図版97	ページ左上隅の図版番号(縦書き)が抜けている	図版97 第11次後期調査
4	109	図版97-1	図中にST1107、A、B、C	ST1107号、1108A号、1108B号、1108C号
4	110	図版98-2	1111A、1111B	1111A号、1111B号
4	111	図版99-1	図に番号なし	別添PDF参照
4	111	図版99-3	図中の上と下の人骨に番号を付ける	上に「1114A号」、下に「1114B号」(別添PDF参照)
4	114	図版102-1	図中の上と下の人骨に番号を付ける	上に「1120A号」、下に「1120B号」
4	114	図版102-2	1121B、1121A	1121B号、1121A号
4	117	図版105	タイトルが抜けている	第4トレンチ第2層中の溝状遺構SD1201実測図(1/80)
4	140	図版127-1	2号箱式石棺墓・・・	2号箱式石棺墓・・・
4	145	図版132-1	(南西から)	(南東から)
4	159	図版146-1	(南西から)	(北西から)
4	213	図版200-1	(西から)	(南から)
4	213	図版200-2	(西から)	(北から)
4	223	図版210-2	2. ST1001A(北から)	2. ST1001B(東から)
4	224	図版211-1	1. ST1001B(西から)	1. ST1001A(北西から)
4	225	図版212-2	(西から)	(南から)
4	227	図版214-1	(西から)	(南から)
4	230	図版217-1	(東から)	(北西から)
4	230	図版217-2	(北から)	(北西から)
4	235	図版222-2	(北から)	(西から)
4	258	図版240の図	タイトルが抜けている	出土貝製品
4	258	図版241の図	最右側の上から3つ目の貝の番号13	12に変更
4	258	図版242-2の図	貝製丸玉2点	削除

分冊番号	ページ	訂正箇所	誤	正
4	272	図版256	図版256 - 74	図版56 - 4
4	278	図版262-1	右上の壺の番号間違い	24ではなく26
4	283	図版267-2	キャプションの14・15・16	削除
4	291	図版275	スケール抜け	1/2スケール
4	303	図版287	7.902A	7.902A
4	309	図版293	26と27の番号が入れ替わっている	別添PDF参照
4	310	図版294	26と27の番号が入れ替わっている	別添PDF参照
4	310	図版294	31と32の写真が入れ替わっている	別添PDF参照
4	310	図版294	36の写真は別資料の写真	別添PDF参照
4	312	図版296	59挿入	別添PDF参照
4	313	図版297	貝珠のキャプションを追加する	156～158：104号人骨、159・160：109号人骨、161：124号人骨、162～164：127号人骨、165～167：127号人骨の足部付近、168～170：221～224・227号人骨、171～173：255号人骨、174～176：315号人骨、177～179：406号人骨、180～182：ST901、183～185：ST902墓壙内、186：ST903墓壙内、187：ST904墓壙内、188～190：ST907墓壙内、191～193：ST910墓壙内、194～196：ST911墓壙内、197～199：ST1109墓壙内、200～202：ST1111墓壙内、203～205：ST1112墓壙内、206：ST1118墓壙内、207～209：ST1120墓壙内

追記：第3分冊に収めている附録のうち、『日本農耕文化の生成』所収の「山口県土井浜遺跡」には人骨番号などの誤記があるが、原分のまま掲載した。人骨番号は本報告書が正しい番号である。また、「にぎめ」について、328頁27.9.21投函文章は322頁27.9.22投函文書と同じもので、重複して掲載されている。325頁の下段記載の「伊秩富美子」は「伊秩洋子」の誤り、318頁上段「金関文夫」は「金関丈夫」の誤り。

付図 人骨・遺構分布図

番号	訂正箇所	誤	正
①	スケールバー下の縮尺表示	1：100	削除
②	スケールバー下の縮尺表示	1：100	削除
③	スケールバー下の縮尺表示	1：100	削除
③	410	410	411
③	411	411	410
③	305	図の変更	別添PDF参照
④	スケールバー下の縮尺表示	1：100	削除